

生徒会だより ～常昇輝流～

生徒会スローガン「常昇輝流」について

令和三年度の生徒会スローガンは『常昇輝流～全員で一迅の風になれ～』です。「常昇輝流」には、全校生徒一人ひとりが常に高みを目指して昇っていくという意味が込められています。スローガンの実現のために、EAST times で普段はなかなか注目されない努力している姿を毎月のテーマに合わせて紹介しています。そのような活動を行って、「全員で一迅の風」になることを目指しています。

第68回白梅祭が開催されました

今年の白梅祭は新型コロナウイルスの影響があり、開催できるか危ぶまれましたが、無事第68回白梅祭を「虹～大空に描こう絆のアーチ 溶け合う個性のグラデーション～」のテーマの下に開催する事が出来ました。

しかし、例年通りの開催とはいかず、白梅祭の合唱コンクールが「合唱祭」という別の行事として10月29日に開催されることになったり、一日目に行っていた有志発表が無くなったりしました。開祭式では毎年恒例の寸劇から始まり、大きなステージバックが披露され、会長・副会長による開祭宣言で白梅祭がスタートしました。その後、意見文・英語スピーチ、演劇部、吹奏楽部のステージ発表がありました。

午後は、体育祭でした。今年の種目は、総力リレー、大縄跳び、しっぽ取りの三種目となりました。三年生は最後の白梅祭だったので、どのクラスも優勝を目指して燃えていました。しっぽ取りは今年、初めて追加された種目だったので、作戦勝ちという感じがしました。総力リレーでは、クラス全員でバトンをつなぐので一人一人が仲間を信頼し、全力で走る必要があります。大縄跳びは、全員で息を合わせて飛ぶことが難しいですが、三年生の中には、4、50回跳んでいるクラスもありました。一年生は初めての白梅祭、三年生は最後の白梅祭を楽しく、そして悔いなく終えることが出来たと思います。

音楽祭が開催されました

別日（10月29日）に開催された「音楽祭」では、体育祭で悔しい思いをした分音楽祭にぶつけようとしたクラスも多くありました。今年の全校合唱曲は『風の道しるべ』でした。新型コロナウイルスの影響でこの曲の合わせ練習をしたのが前日だけという過去に類を見ない状況でした。また、練習できない期間が長かった為、歌詞もきちんと覚えられていなかったです。そこで、今年は『風の道しるべ』の歌詞をスクリーンに出すという事を行いました。コロナ禍で制限が多い中でしたが唯一、マスクだけは外して歌うことが出来ました。

どのクラスも、何回も練習してきたクラス合唱曲に対する愛着が湧き、練習の成果が出ていたと思います。特に、三年生の学年合唱『群青』は聴いている側だけでなく、歌っている側もとても感動しました。表彰式は体育祭の時と比べ物にならないほどの、大盛り上がりでした。世界中で新型コロナウイルスが流行する中でも全校生徒が楽しめた音楽祭になったと思います。



写真：3学年 学年合唱「群青」